イコトロキンラ使用上の注意

日本皮膚科学会 乾癬分子標的薬安全性検討委員会

2026年11月13日

製剤およびその使用について

- 本剤は、IL-23 受容体に選択的に結合するペプチドで、平衡解離定数（K_D 値）は 7.1pmol/L である。本剤は、IL-23 とIL-23 受容体の結合を競合的に阻害することで、IL-23 受容体を介したシグナル伝達及び下流のサイトカイン産生を阻害する。
- 製剤の使用に際しては、日本皮膚科学会による「乾癬における生物学的製剤の使用ガイダンス（2022年版）」に則るものとする。また、本製剤を使用する施設については、既承認の抗IL-23抗体製剤に準じて取り扱うものとする。（日本皮膚科学会安全性検討委員会に届け出施設において使用する）
- ヤンセンファーマ株式会社からの、「イコタイド錠®200mg適正使用ガイド」も併せて参照したうえで、適切と考えられる患者に使用する。

効能又は効果、及び関連する注意

効能又は効果

既存治療で効果不十分な下記疾患

尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症

効能又は効果に関連する注意

以下のいずれかを満たす尋常性乾癬、膿疱性乾癬、又は乾癬性紅皮症患者に投与すること。

- 光線療法を含む既存の全身療法（分子標的薬を除く）等で十分な効果が得られず、皮疹が体表面積の10%以上に及ぶ患者。
- 難治性の皮疹又は膿疱を有する患者。

用法及び用量、及び関連する注意

用法及び用量
通常、成人及び12 歳以上かつ体重40 kg 以上の小児には、イコトロキンラとして1 日1回200 mg を起床時に空腹の状態で経口投与する。

用法及び用量に関連する注意
- 本剤の吸収は食事による影響を受けることから、本剤は起床時に空腹の状態で水にて服用すること。また、服用後30分は食事を避けること。
- 本剤と適応疾患の分子標的薬との併用について安全性及び有効性は確立していないので併用を避けること。
- 本剤による治療反応は、通常投与開始から16 週以内に得られる。16 週以内に治療反応が得られない場合は本剤の治療計画の継続を慎重に再考すること。

安全性および使用上の留意点など

結核（とくにその再活性化）を含めた感染症に対する留意点は、既承認の抗IL-23抗体製剤と同様であり、その他の慎重投与については「イコタイド錠®200mg適正使用ガイド」を参照されたい。

禁忌（次の患者には投与しないこと）

- 重篤な感染症の患者［症状を悪化させるおそれがある。］
- 活動性結核の患者［症状を悪化させるおそれがある。］
- 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者